

随想

〈第十九回〉

大型連休中に感じた

旭の魅力

市長 米本 弥一郎



4月末から5月初めにかけての大型連休、新型コロナウイルスの感染が落ち着きを見せ、行動自粛やマスク着用も緩和されたことで、旅行やレジャーで外出した人も多かったのではないかと思います。

この連休中、市内でもさまざまなイベントが開催され、県内外から大勢の人に訪れていただきました。

5月3日の「幽学の里で米作り交流事業」では、都内などから参加した親子連れによる田植え体験が行われました。水が張られた田んぼに、初めは恐る恐る足を踏み入れていた子どもたちが、あつという間に慣れ、泥にまみれたり、生き物を見つけたりすることに興じながら、苗を植えている様子をほほ笑ましく見守りました。

同じ日に長熊釣堀センターで行われた「春のヘラブナ釣大会」では、

老若男女の釣り人が早朝から腕前を競い合いました。約100人の参加者のうち、その大多数が市外からの参加という人気ぶりです。表彰式では、釣果が発表されるたびに会場が沸き、賞品として市の特産品である肉や野菜などを受け取った入賞者のうれしそうな顔がとても印象に残りました。

この日は好天に恵まれ、ウグイスの澄んだ鳴き声が聞こえるなど、自然の豊かさを再認識した日でもありました。旭市には、この豊かな自然をはじめ、特産品や交流施設など多くの恵まれた地域資源があります。現在、シティプロモーションの一環として、映画やドラマなどのロケを誘致するためのPR動画を制作中ですが、より多くの人に訪れていただけるよう、旭の魅力を全国に向けて発信していきたいと思えます。

図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後7時
土・日曜日、祝・休日…午前9時～午後5時
今月の休館日／毎週月曜日、16日(金)
関市図書館(☎62-2560) <https://www.library-asahi-chiba.jp/>

おはなしの時間

幼児向けの絵本の読み聞かせ

日時／ 3日(土) 午前10時30分～11時
17日(土) 午前10時30分～11時
場所／県立東部図書館3階 研修室

今月のおすすめ



「27000冊ガーデン」

大崎梢 著 (双葉社)

舞台は県立高校の図書館。次々と持ち込まれる、本にまつわる謎や事件を、学校司書・駒子と出入りの書店員・針谷の二人がひもとく、図書館ミステリー。



「オール・ノット」

柚木麻子 著 (講談社)

苦学生の真央が出会った試食販売の四葉は、栄華を誇った山戸家の生き残りだった。不思議感漂う彼女と仲を深めた真央は宝石箱を託され、やがて人生に変化が…。

新着図書

- | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------|
| ● 久住昌之の終着駅から旅さんぽ
(久住昌之) | ● 牧野富太郎の植物図鑑
(高知県立牧野植物園) | ● 上海灯蛾
(上田早夕里) |
| ● 日本再起動
(橋下徹) | ● 脳の闇
(中野信子) | ● やさしさを忘れぬうちに(川口俊和) |
| ● 18歳までに知っておきたい契約のはなし
(神坪浩喜) | ● 自分が高齢になるということ
(和田秀樹) | ● 夜空に浮かぶ欠けた月たち(窪美澄) |
| ● 熱くなれ
(稲盛ライブラリー) | ● 日本列島改造論
(田中角榮) | ● 勿忘草をさがして
(真紀涼介) |
| ● 保育士よちよち日記
(大原綾希子) | ● 音楽と生命
(坂本龍一) | ● いのちの十字路
(南杏子) |
| ● 世界で一番美しい太陽系図鑑
(マーカス・チャウン) | ● うたかたモザイク
(一穂ミチ) | ● 街とその不確かな壁
(村上春樹) |
| | ● 内角のわたし
(伊藤朱里) | ● シン・養生論
(五木寛之) |
| | | ● マリコ、東奔西走
(林真理子) |
| | | ● 月と散文
(又吉直樹) |